

講義名	A I 活用入門B201		
開講責任部署	大阪学院大学		
講義開講時期	秋学期第2ターム	講義区分	講義
基準単位数	1	時間	7.00
開講年度	2026		
配当年次	1		
曜日講時	水3		

担当教員

氏名

◎ 白川 雄三

講義(演習)テーマ	OGU数理・データサイエンス・AI教育プログラム科目 AI(人工知能)を活用できる人材として、社会で活躍するためのAIの知識を修得する。
講義(演習)概要	AIは、理系の学生だけでなく、文系の学生にも必須の知識・技術である。AIは、さまざまな分野に適用され、急速に私たちの生活になくてはならないものになっている。このため、AIを理解でき、活用できる人材の育成が急務とされている。 本講義では、AIの歴史・機械学習手法からはじめて、画像認識・音声認識・自然言語理解・ロボットなどの各分野におけるAI技術について説明する。また、AIシステムの構築方法、AIシステムの応用事例、AIの普及によって生じるさまざまな社会問題についても説明する。
卒業認定・学位授与の方針との関連	養成する能力 ◎社会人として必要な素養と豊かな人間性を身につけている。 ◎獲得した知識・技能を活用する態度や行動力を身につけている。 ※◎、○、△は関連性を示す。
到達目標	1. 統計手法について説明できる。 2. データの構造とプログラミングについて説明できる。 3. AIシステムの構築方法と応用事例について理解する。 4. AIの社会への影響について説明できる。

講義スケジュール(授業計画)

回	内容
第1回	データ・AIにまつわるセキュリティ
第2回	統計と数学の基本
第3回	アルゴリズムとは何か
第4回	データの構造とプログラミング
第5回	データを上手に扱うには
第6回	時系列データと文章データの分析
第7回	データ活用実践(教師あり学習と教師なし学習)

評価基準・方法	定期試験：65% レポート・小テスト：35%(※レポートは点検後、返却します。) その他：0% 毎回の授業時に小テストを行う。OGU-Caddieで説明を行う。
授業外学習の指示	・次回の授業につながるように、課題や予習・復習(各2時間)に取り組んでください。 ・OGU-Caddieに、「東京大学 数理・情報教育研究センター」の作成した数理・データサイエンス・AI教育プログラム補助資料をアップロードするので、予習・復習に使用してください。

履修上の注意	<p>(2022年度以前の入学者対象) 「AI活用入門A」の履修を強くおすすめします。また、「AI活用入門A」と「AI活用入門B」の両方に合格した者が履修できる「AI入門演習」も積極的に履修してください。</p> <p>(2023年度以降の入学者対象) 「AI活用入門A」の履修を強くおすすめします。 この科目は「OGU数理・データサイエンス・AI教育プログラム」の科目です。「AI活用入門A」と「AI活用入門B」の両方を合格した者には、「OGU数理・データサイエンス・AI教育プログラム」の修了証を発行します。 また、「AI活用入門A」と「AI活用入門B」の両方に合格した者が履修できる「AI入門演習」も積極的に履修してください。</p> <p>ChatGPTなどの生成AIの利用については公式ホームページを確認すること。</p>
オフィスアワー	4月に学生ホームページに掲載する。
教科書	岡嶋裕史、吉田雅裕著『(改訂新版)はじめてのAIリテラシー』技術評論社 (ISBN : 9784297144074)
参考文献	授業中に指示する。
関連URL	授業中に指示する。
担当者からの一言	<ul style="list-style-type: none"> ・出席を重視します。 ・AIスキルは、今後の社会人の必須スキルです。できる限り、身につけてください。 ・(2023年度以降の入学者対象) 「AI活用入門A」、「AI活用入門B」で基礎を身につけた学生には、実践的な内容に取り組む「AI入門演習」に加え、さらに発展的な学修として「OGU数理・データサイエンス・AI教育プログラム(応用基礎レベル)」を用意しています。応用基礎レベルでは、「データサイエンス基礎」と「AI活用基礎」を通じて、AIやデータを大学での学修や将来の進路に主体的に活用できる力を養います。 ・授業についての連絡は、OGU-Caddieの「掲示板」、「お知らせ発信」機能を使用します。



✕ ウィンドウを閉じる